

令和7年（2025）3月7日

報道関係各位

猪名川町役場
企画政策課広報戦略室

中学生が発案！リサイクルバッグが完成

【概要】

猪名川町立猪名川中学校（学校長：松嶋利泰^{としひろ}、生徒数（R6.5.1時点）：569人）では、生徒会主導でペットボトルゴミの排出・分別を通して、環境問題について考え、学校での課題解決にもつなげようと、ペットボトルのリサイクル素材を使ったオリジナルバッグを製作することとし、このたび3月10日（月）に完成します。

猪名川中学校には、生徒会発案で令和6年1月末から飲料自動販売機（アサヒ飲料株式会社）が設置されています。（教育の駅いながわ 第107号参照）

自動販売機の導入にあたり、ペットボトルリサイクルを題材とした環境教育につながる取組を検討する中で、アサヒ飲料株式会社と帝人フロンティア株式会社の協力を得て、リサイクル素材使用のオリジナルバッグの作製が実現しました。そのオリジナルバッグは、生徒の補助バッグとして利用してもらおうとするものです。また、補助バッグには、生徒がデザインしたアイロンスシート（1シートに6デザイン）が添えられ、各生徒の好きなデザインをバッグに転写できます。

【生徒会・学校の取組に対する思い】

生徒会では、今までの先輩方が取り組んだことのないことをやってみようと色々と案を出しあっています。今回、自動販売機設置からの継続プロジェクトとして、ペットボトルのリサイクルで出来上がる布地を使ったオリジナ

ルバッグの製作を行いました。今年度は、まだ十分な量のペットボトルが回収できていないため、既存の再生素材を利用した形となりましたが、様々な方との出会い、関わりが生まれ、社会とつながることができました。また、ペットボトルが布に替わるまでの工程やペットボトルの持つ価値など、普段の学校生活ではあまり知ることのできないことを学ぶことができました。SDGsにより興味を持ち、猪名川中学校全体に環境保護活動について考える機会をひろめていきたいと思っています。

【今後の目指す展開】

これからの生徒会活動では、自動販売機からオリジナルバッグづくりへとつなげてきた環境保護活動について考えること・行動することを継続し、猪名川中学校だけではなく、猪名川町や近くの地域にもこの活動をひろめていきたいです。また、環境保護活動だけではなく、色々な学校の課題、社会の課題について考え、自分たちの生活をより豊かにできるプロジェクトを発案し、周りに、そして次の代につなげていきたいと思っています。

（補助バッグの仕様）

色：ネイビー（無地＋アイロンシール）

サイズ：幅36cm×高さ28cm×マチ9.5cm

収納サイズA4サイズ 形：横長肩かけ

値段：2,500円（購入者負担）

※アイロンシート費用は、自動販売機の販売手数料の一部（公費）で負担



※詳細は別添資料のとおり

- ・町教育委員会報「教育の駅いながわ」第 107 号（令和 6 年 4 月 1 日）
- ・猪名川中学校生徒会 入学説明会プレゼンテーション資料
- ・サブバッグ仕様書

【問合せ】

教育委員会教育振興課 担当：橋本（TEL072-766-6000）

猪名川町立猪名川中学校 担当：高崎（TEL072-766-4000）